

# 第5回V・ファーレン長崎支援会諫早支部会議事録要約

V・ファーレン長崎支援会運営部会長：平鍋公二

**1.日 時** : 2012年10月2日(火) 19:30~21:30

**2.会 場** : 諫早市社会福祉会館3F 会議室

**3.参加者** : クラブ：菊次専務 後援会：山内事務局長 諫早市サッカー協会：応戸氏 アドバイザー：橋元氏  
支援会：大山長崎市支部長 森垣島原市支部長 藤原運営委員長 一般参加者：3名(総計10名)

## **4.議 題** :

- (1) V・ファーレン長崎からの報告
- (2) 支援会からの報告について
- (3) 第4回支援会諫早支部からの提案・要望へのクラブ回答について
- (4) 長崎市にサッカー専用スタジアム建設を求める署名活動に関する報告

## **5.概 要** :

### (1) **V・ファーレン長崎からの報告** :

クラブライセンス制度条件付交付、トップチームの状況、今後の課題などが説明された。

### (2) **支援会からの報告** :

「8/18 吾妻町夏祭り参加」「8/26 長崎県選手権決勝会場でのホームゲーム告知チラシ配布」「9/16 JFL 第25節試合前設営ボランティア参加」「9/17 ホームゲーム観戦者大規模アンケート実施」「9/29 ホームゲーム観戦者簡易アンケート実施」「9/29 ホームタウン清掃活動」を支援会で行った事が報告された。

### (3) **第4回支援会諫早支部からの提案・要望へのクラブ回答について**

- ・諫早のんこの祭りへのクラブの参加→不参加。クラブの対応・姿勢について支援会より抗議
- ・マツバラスポーツとの連携→連絡継続中。諫早のアーケードでイベントが出来ないか検討していく事とした。
- ・島鉄とのタイアップ企画→10/14 応援ツアー実施決定。加えて、10/8のレンコン掘り大会へ参加決定。
- ・後援会改革→ファンクラブ設立準備検討会議を立ち上げ、その中で協議中。

### (4) **長崎市にサッカー専用スタジアム建設を求める署名活動に関する報告**

本活動の趣旨と必要性が認められた一方で、PRと説明の徹底を行わねば誤解を招くとの指摘がなされた。  
クラブ内意思統一がなされていない部署があり、嚴重に抗議がなされた。

## **6.次回日程** :

第5回V・ファーレン長崎支援会諫早支部会 10/2(火) 19:30~ 諫早市社会福祉会館第2F 会議室

以上

## 第4回 V・ファーレン長崎支援会諫早支部会議事経過及び所見

V・ファーレン長崎支援会運営部会長：平鍋公二

### 1. 議事経過及び所見：

#### (1) V・ファーレン長崎よりの報告：

議事経過： 菊次専務よりクラブライセンス制度条件付交付についての説明がなされた。またトップチームに関してチーム状態が良好である一方で、楽観視は出来ないとの意見が述べられた。続けて今季の残された最大の課題が経営面である点が説明され、今後改善していきたいとの抱負が述べられた。

#### (2) 支援会の活動報告：

議事経過： 支援会の大山長崎市支部長より、「8/18 吾妻町夏祭り参加」「8/26 長崎県選手権決勝会場でのホームゲーム告知チラシ配布」「9/16 JFL 第 25 節試合前設営ボランティア参加」「9/17 ホームゲーム観戦者大規模アンケート実施」「9/29 ホームゲーム観戦者簡易アンケート実施」「9/29 ホームタウン清掃活動」などの報告がなされた。また支援会長崎部会でボランティア制度に関する協議が継続されている事と 11 月 4 日にホームタウン清掃活動を予定している事も報告された。

また「9/29 ホームゲーム観戦者簡易アンケート」の集計結果について藤原運営委員長より説明があり、アンケート回答数が 247 人で長崎市在住者が 74%、以下県中央区が 12%、県北 9%、県外 3%、島原が 1%を占め、長崎市開催の場合の長崎市民の割合の高さが指摘された。

#### (3) 第 4 回支援会諫早部会からの提案・要望へのクラブ回答について

議事経過： 「9/15、16 諫早のんこのこまつりへのクラブの参加」について菊次専務より「不特定多数へ向け PR を行うより幸町、栄町等での活動が重要ではないか？」と同祭りへ参加しなかった事が報告された。これに対して藤原運営委員長より、地域イベントを軽んじる発言へ抗議がなされ、クラブの地域密着方針を問う声があがった。これに対して菊次専務より「クラブ内の 3 部署がバラバラで一つにまとまりきれない」との釈明がなされ、藤原運営委員長よりこのような対応を繰り返している事への抗議がなされた。

続けて、「マツバラスポーツとの関係強化」について菊次専務よりマツバラスポーツを通じて商工会などと連携出来ないかとの意見が出された。応戸氏より諫早のアーケードでクラブのイベントを開催してはどうかとの意見が挙がり、栄町・幸町アーケードでやれないかとの提案がなされた。またアドバイザーの橋元氏より両アーケードは別々の組織であり双方に連絡が必要との指摘がなされ、検討していく事とした。

その後、支援会の森垣支部長より島鉄とタイアップしての「10/14 ホームゲーム応援ツアー実施と「10/8 レンコン掘り大会へのクラブ参加」が報告された。またレンコン掘り大会の V・ファーレン賞景品に島原支部、長崎支部、V-ist より景品提供がなされた事が報告された。更に応援バスツアーの特典として当日の公式戦で使った試合球に選手サインを入れてプレゼントしてはどうかとの意見が挙がり、菊次専務より対応したいとの回答がなされた。最後に後援会改革についてファンクラブ設立準備検討会議を立ち上げて、その中で後援会改革を協議している事が後援会の山内事務局長より報告された。

#### (4) 長崎市にサッカー専用スタジアム建設を求める署名活動について

議事経過： 藤原運営委員長より現在、クラブが展開中の「長崎市にサッカー専用スタジアム建設を求める署名活動」について「署名の趣旨」「署名活動の必要性」「今後の計画」について説明がなされた。これに対して橋元アドバイザーより説明を聞いてスタジアムの必要性を理解したが、現状ではクラブの説明不足・PR不足が多く、説明の機会を多く作るべきとの意見が出された。それを受けて、藤原運営委員長より、クラブ側に説明機会の創出とPRヘカを入れるように申し入れがなされた。

また、藤原運営委員長より、本活動の協力を引き受ける際の条件として「クラブの本気」と「クラブ内の署名に関する意思統一徹底」を申し入れ、宮田社長が同条件を受諾したが、選手、スタッフに本活動の説明があったのかとの問いに菊次専務が「もっと活動についてハッキリしてから説明するつもりで、まだ本活動を説明していない。私自身、今説明を聞いてようやく半分理解した所だ」との回答した

藤原運営委員長より社長の方針と違う対応である事が指摘されて抗議がなされ、今後の署名活動趣旨説明のPRなどへ対応するよう申し入れがなされ、クラブ内対応が不十分との指摘がなされた。

#### (5) 次回の支援会諫早部会の日程について：

議事経過： 藤原運営委員長より次回の「第6回 V・ファーレン長崎支援会諫早部会」の開催日を12月4日（火）の19：30に諫早社会福祉会館で開催するよう提案がなされ了承された。

(以上)

V・ファーレン長崎支援会運営部  
会長：平鍋公二  
vvnnsienkai@yahoo.co.jp